

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
地歴公民	N 日 本 史	3	3	文系GA	1, 2, 3

教科書	詳説日本史（山川出版社）	副教材	新詳日本史（浜島書店）
			時代と流れで覚える！日本史用語（文英堂）

科目の目標	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて、現代の日本の課題を探究する。

科目の概要	日本史の近代史を主に扱う。歴史総合の学習を踏まえた、世界の情勢の変化とそこにおける日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解する。近現代の地域・日本と世界の相互の関係を構造的に整理し、多様な視点から歴史に関わる諸事象について深い理解を図る。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・レポート課題など、文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第12章 近代国家の成立 <p style="text-align: center;">【1学期 中間試験】 5月18日～21日</p>	明治政府による中央集権化や近代化政策（富国強兵・殖産興業）、自由民権運動といった抵抗・言論闘争を経て、大日本帝国憲法の制定と立憲国家の成立を学習し、近代国家が形成される過程を多角的に理解・考察する。
	第13章 近代国家の展開 <p style="text-align: center;">【1学期 期末試験】 7月1日～7日</p>	日清・日露戦争を通じた国際的地位の向上と植民地支配の拡大、および第一次世界大戦後のワシントン体制下での国際協調や大正デモクラシーにともなう政党政治の進展という、日本が国際社会の中で近代国家として成長・変容していく過程を多角的に理解・考察する。
2 学 期	第14章 近代の産業と生活 <p style="text-align: center;">【2学期 中間試験】 10月13日～16日</p>	産業革命による資本主義の確立とそれに伴う社会問題（労働・公害）への対応、および教育の普及やマスメディアの発達を通じた大衆社会・大衆文化の形成という、日本の社会と生活が近代化し変容していく過程を多角的に理解・考察する。
	第15章 恐慌と第二次世界大戦 <p style="text-align: center;">【2学期 期末試験】 12月1日～7日</p>	世界的な恐慌による経済動揺と軍部の政治的台頭によって国際協調が挫折し、日中戦争から太平洋戦争へと至る戦時体制の進展と、第二次世界大戦がもたらした惨禍について多角的に理解・考察する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。